

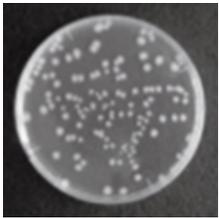
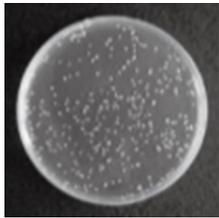
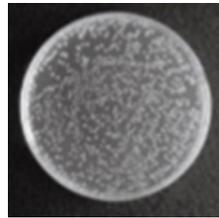
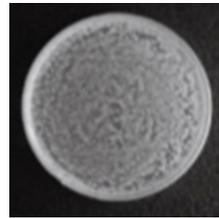
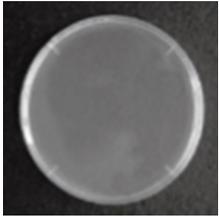
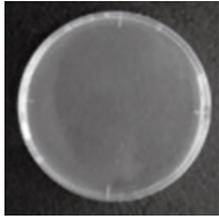
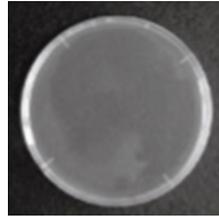
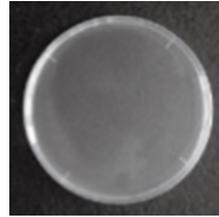
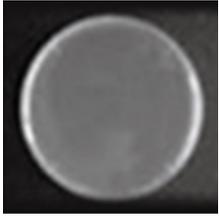
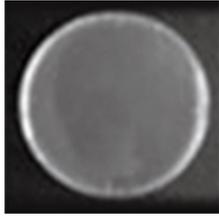
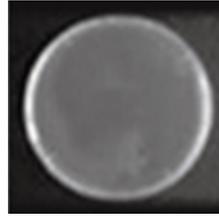
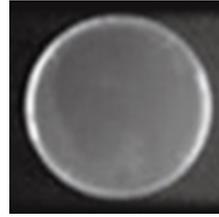
1. 検査機関：環境衛生検査センター主任検査技師常盤俊之
2. 試験期間：(1)2015年9月15日～2015年9月28日
3. 試験試料：(1) ブランク (滅菌検査パック)
4. 試験条件：直後～7日間 25°C放置
5. 試験方法：

検体調整：シトラクリン液を滅菌生理食塩水を用いて 500(X500) 倍希釈したものを、5X5cm に切り出した滅菌検査パック表面に 0.2ml 塗沫処理後、25°Cのフラン器内で所定期間 (直後、1,2,3,4,5,6,7 日間) 乾燥させたものを供した。  
 また、未処理の滅菌検査パックをブランクとした。

前培養：供試菌は標準寒天培地 (日水) で 37°C24 時間前培養して試験に供した。

菌液調整：前培養した供試菌は 1/500NB 培地を用いて約 X 10CFU/mi になるように調整し作製した。

前培養：供試菌は標準寒天培地 (日水) で 37°C24 時間前培養して試験に供した。

	Escherichiacoil KEC-B-001 大腸菌	Staphylococcus aureus KEC-B-002 黄色ブドウ球菌	Pseudomonas aeruginosa KEC-B-003 緑濃菌	Bacillus subtilis KEC-B-003 枯草菌
接種菌数	$6.1 \times 10^5$	$6.3 \times 10^5$	$6.4 \times 10^5$	$5.2 \times 10^5$
初発	$2.3 \times 10^5$	$2.5 \times 10^5$	$2.2 \times 10^5$	$2.3 \times 10^5$
ブランク (滅菌検査パック) 24 時間後	 <math><10^1</math>	 <math><10^1</math>	 <math><10^1</math>	 <math><10^1</math>
シトラクリン (X500) 添加滅菌検査パック 24 時間後	 <math><10^1</math>	 <math><10^1</math>	 <math><10^1</math>	 <math><10^1</math>
シトラクリン (X500) 添加滅菌検査パック 7 日後	 <math><10^1</math>	 <math><10^1</math>	 <math><10^1</math>	 <math><10^1</math>

# インフルエンザウィルス不活性化定量試験

1. 検査機関：北里大学 医療衛生学部
2. 試験内容：シトラクリン WJ-014（シトラクリン原液）のウィルス不活性化定量試験
3. 試験品：シトラクリン WJ-014（シトラクリン原液）
4. ウィルスと細胞：influenza virus A 型 /duck/Hokkaido/5/77（H3N2） MDCK 細胞
5. 試験方法：

細胞毒性試験で得た細胞毒性濃度医科に調整した試験品の液（10 倍希釈液）にインフルエンザウィルスを 1/10 量加えた。（ウィルスの最終濃度は 10PFU/ml になるようにリン酸緩衝液で調整した。）作用温度は室温とし、作用時間は 5 分間、30 分、1 時間及び 3 時間とした。作用液中の生残ウィルス量をブラック法で定量した。

試験品の濃度 0% の作用液（リン酸緩衝液）の生残ウィルス量を不活性化率 0% として、試験品のウィルス不活性化率を求めた。

作用時間	作用液	試験	生残ウィルス PFU/ml	生残率 %	不活性化率 %
5 分間	シトラクリン (10 <sup>4</sup> 倍希釈)	1	<5 不検出	<0.02	>99.98
		2	<5 不検出	<0.02	>99.98
	リン酸緩衝液 (対照)	1	2.5×10 <sup>4</sup>	100	0
		2	2.3×10 <sup>4</sup>	100	0
30 分間	シトラクリン (10 <sup>4</sup> 倍希釈)	1	<5 不検出	<0.02	>99.98
		2	<5 不検出	<0.02	>99.98
	リン酸緩衝液 (対照)	1	2.4×10 <sup>4</sup>	100	0
		2	2.3×10 <sup>4</sup>	100	0
1 時間	シトラクリン (10 <sup>4</sup> 倍希釈)	1	<5 不検出	<0.03	>99.97
		2	<5 不検出	<0.03	>99.97
	リン酸緩衝液 (対照)	1	2.0×10 <sup>4</sup>	100	0
		2	1.8×10 <sup>4</sup>	100	0
3 時間	シトラクリン (10 <sup>4</sup> 倍希釈)	1	<5 不検出	<0.03	>99.97
		2	<5 不検出	<0.04	>99.96
	リン酸緩衝液 (対照)	1	1.7×10 <sup>4</sup>	100	0
		2	1.4×10 <sup>4</sup>	100	0

## グレープフルーツ種子抽出における合成殺菌剤配合検査

1. 試験機関：財団法人日本食品分析センター
2. 試験番号：第 108064346-001 号
3. 試験内容：シトラクリンの有害物質測定試験
4. 試験品：シトラクリン
5. 分析試験結果：

注 1. 検出限界は検体に由来する測定上の妨害物質のため、0.1g/kg とした。

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
ソルビン酸	検出せず	0.005g/kg		液体クロマトグラフ - 質量分析法
パラオキシ安息香酸メチル	検出せず	0.005g/kg		液体クロマトグラフ - 質量分析法
パラオキシ安息香酸プロピル	検出せず	0.005g/kg		液体クロマトグラフ - 質量分析法
トリクロサン	検出せず	0.01g/kg		高速液体クロマトグラフ法
塩化ベンゼトニウム	検出せず	0.1g/kg	1	液体クロマトグラフ - 質量分析法